

地域連携室だより

〒930-8550 富山市西長江2-2-78 | TEL 076 (424) 1531 | https://www.tch.pref.toyama.jp/



新緑の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。 新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力いただき感謝致します。 今月の掲載は、麻酔科、小児科、認知症ケアチームです。

診療科の紹介

麻酔科



麻酔科スタッフ

後列左より 立花医長、那須医長、大石医長、寺崎医長、青木副医長、小川医師

中列 牛尾医長

前列左より 高野医長、吉田医師、荒井部長、長岡医長

【診療体制】

麻酔科は、荒井部長、大石医長、長岡医長、那須 医長、寺崎医長、牛尾医長、立花医長、高野医長、 吉田副医長 (産休中)、青木副医長、小川医師、吉田 医師の12名と富山大学医学部麻酔科からの応援で麻 酔業務を行っています。また、歯科口腔外科手術症例 の麻酔管理には新潟大学歯学部歯科麻酔科からも応 援に来ていただいています。

【診療内容-麻酔管理について】

現在当科では、4階中央手術室ではハイブリッド手術室を含む15室で、日々、手術症例に対応しています。 全身麻酔症例は全例、局所麻酔症例にも一部対応しています。2022年度は総手術件数7,527件のうち4,748件を麻酔科管理下に行いました。近年、いわゆる団塊の世代の方々の高齢化に伴い、80、90歳代の全身麻酔症例も増えてきました。合併症を有する患者 さんも多く、周術期を通して、きめ細やかな全身管理 を目指した術前診察、最新モニターや超音波装置を駆 使した術中管理、マルチモーダル鎮痛を考慮した術後 疼痛管理を綿密に行い、より安全で良質な麻酔を心 掛けています。

【話題提供ーヘモスフィア】

ロボット支援下手術は、術後痛や出血が少なく回復 も早いことから、手術件数も増加してきています。外 科的には低侵襲ですが、麻酔科的には特殊な管理が 必要です。高度頭低位や気腹は呼吸・循環に大きな影響を与えます。

当院では、一部合併症を有する患者さんに対して ヘモスフィア (エドワーズライフサイエンス社 図 1) を使用して、心拍出量 (CO)、一回拍出量 (SV)、一回拍出変化量 (SVV) などをモニタリングしながら血 行動態を継続的に監視し、臓器や組織に血液と酸素が供給されているかを評価し、安全な麻酔管理を行っています。



図 1

【ペインクリニック外来】

ペインクリニックではあらゆる痛み・しびれに対して神経ブロック、薬物治療を中心に診療を行っています。 半年以上長引く痛みは心理社会的な因子が背景にあるかもしれません。ストレスや気持ちのつらさなどに配慮しながら丁寧な診療を心掛けています。2022年度、治療の対象となった疾患は以下のとおりです。

- · 带状疱疹後神経痛
- ·下歯槽神経麻痺
- •三叉神経痛
- · 舌咽神経痛
- ・舌痛症
- ·非定型顔面痛
- ・歯痛症
- · 頚椎症性神経根症
- ・肩関節周囲炎
- ・慢性腰痛症
- ·変形性膝関節症
- ·遷延性術後痛
- ·肋骨骨折
- ・癌性疼痛等々

今後も安全で質の高い痛み治療を提供できるよう 日々精進してまいります。

※ペインクリニックに従事していた医師の退職に伴い、4月からペインクリニック外来は週4日から週2日に減らして診療を継続することになりました。現在ペインクリニック外来は、吉田臨時医師と青山臨時医師で主に院内紹介患者様のみ対応させていただいております。関係する皆様方にはご迷惑をおかけしますがご理解賜りますようお願い申し上げます。

[文責:青山(荒井)]

転入医師紹介

診療科	医 師 名			
腎臓・高血圧内科	カル 晃寛 医師			
循環器内科	うすだ けいすけ 臼田 圭佑 副医長			
10块谷内外				
	うるしばら りょうた 漆原 涼太 副医長			
血液内科	みねむら ともき 峯村 友樹 医師			
	ょしの ひるき 吉野 裕貴 医師			
呼吸器内科	むらやま のぞむ 村山 望 医師			
	まきえもん 桃井 午左衛門 医師			
消化器内科	UphLとう ひであき 春藤 英明 医師			
-	すだ よしふみ 須田 哲史 医師			
	ほんごう はゃと 本江 駿人 副医長			
内分泌・代謝内科	ふなさき ゆうか 船崎 友馨 副医長			
_	まくしま あきひろ 菊島 明浩 医師			
リウマチ・和漢診療科	った れいな 津田 玲奈 医長			
精神科	ふくい たくゃ 福井 琢也 副医長			
呼吸器外科	にながわ しゅんや 蜷川 竣也 医師			
	ゃ ち ゆうすけ 谷内 裕輔 医長			
	たけだ よしかつ 竹田 義克 副医長			
小児科	いわた ま ゆ 岩田 茉祐 医師			
-	ほんだ まりこ 本多 真梨子 医師			
	にしだ ようじ 西田 洋児 医長			
-	いわき よしたか 岩城 吉孝 医長			
外科	ぁゕし たかひさ 明石 尭久 医師			
	たかやま やすひろ 高山 恭滉 医師			
	^{かねだ} こうじ 金田 広志 医師			

診療科	医師名
乳腺外科	^{なかむら たかし} 中村 崇 部長
整形外科	ゕゎぃ めぐむ 河合 慈 医師
形成外科	くるだ ともちか 黒田 友集 副医長
	いしぐる あや 石黒 彩 医長
産婦人科	やまもと けんた 山本 健太 医師
泌尿器科	ank
	か の しまいか 狩野 愛佳 医師
眼科	にしむら しゅんすけ 西村 俊亮 医師
耳鼻いんこう科	さかの まい 酒野 真衣 医師
	_{あさみ えり} 浅見 栄里 医師
歯科□腔外科	しゅず 清水 まや 医 師
放射線診断科	みやかわ こうすけ 宮川 弘亮 医師
麻酔科	まがわ こうへい 小川 浩平 医師
救命救急センター部	せ と ひろき 瀬戸 大樹 医師
	こいずみ な お 小泉 直生 医師
	たかなが こうへい 高長 紘平 医師
	^{ふじい} 藤井 みのり 医師
集中治療部	staff だいち 蓬田 大地 医師
(集中治療科)	くゎの ひろゆき 桑野 博之 医師



小児科のご案内

専門領域と 治療内容の 特徴

広く小児科診療を行っていますが、新生児、心臓、腎臓・膠原病、内分泌などの専門性を活かした診察も行っています。また、平成24年から小児外科も開設し、小児外科と連携した医療も提供しています。救命救急センターでは、救急患児にも対応しています。

当院には総合周産期母子医療センターがあり、県内の未熟児新生児医療の中核を担っています。さらに、WHO・ユニセフから「赤ちゃんにやさしい病院」の認定を受けており、母乳育児の推進に尽力しています。産科と協力し、よりよい母子関係の確立の手助けも行っています。

医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート



部長 ふじた しゅうへい 藤田 修平

【皆さんへ一言】

・気軽にご相談ください。

【自身の専門性 (手技他) アピール】

· 小児循環器、不整脈

【専門医資格】

小児科学会専門医·指導医、小児循環器学会専門医、 循環器学会専門医、不整脈学会専門医



部長 みゃした けんご **宮下 健悟**

【皆さんへ一言】

・低身長や肥満など気軽に相談してください。

【自身の専門性(手技他)アピール】

· 内分泌代謝

【専門医資格】

小児科学会専門医、内分泌学会専門医 (小児)



医長 うえの かずゆき 上野 和之

【皆さんへ一言】

・一所懸命に頑張ります。

【自身の専門性 (手技他) アピール】

・腎臓、リウマチ・膠原病

【専門医資格】

小児科学会専門医、腎臓専門医



医長 ゃ ち ゆうすけ **谷内 裕輔**

【皆さんへ一言】

·よろしくお願いします。

【自身の専門性 (手技他) アピール】

·小児循環器、小児一般

【専門医資格】

小児科学会専門医



副医長 さくむら なおと 作村 直人

【皆さんへ一言】

・患者・ご家族に寄り添った診療をします。【自身の専門性(手技他)アピール】

・腎臓、リウマチ・膠原病

【専門医資格】

小児科学会専門医、腎臓専門医



副医長

たけだ よしかっ **竹田 義克**

【皆さんへ一言】

いつでもご相談ください。

【自身の専門性 (手技他) アピール】

·循環器 (小児、成人)

【専門医資格】

小児科専門医、内科認定医



医師 てんま たまみ **轉馬 珠美**

【自身の専門性 (手技他) アピール】

・小児一般

【専門医資格】 小児科専攻医

(3)

医師 いゎた まゅ 岩田 茉祐

【皆さんへ一言】

・精一杯頑張ります。

【自身の専門性 (手技他) アピール】

·小児一般

【専門医資格】

小児科専攻医



医師 ^{ほんだ} まりこ **本多 真梨子**

【皆さんへ一言】

・患者さんに寄り添った診療を行います。

【自身の専門性(手技他)アピール】

・小児一般

【専門医資格】

小児科専攻医

外来診療担当表

		月	火	水	木	金
	1診	竹田	岩田	谷内	岩田	作村
午前	2診	谷内	宮下	作村	宮下	上野
	3診	上野	藤田	上野	藤田	宮下

		月	火	水	木	金
	1診	竹田	岩田	谷内		作村
午後	2診	谷内	宮下	作村	1ヶ月 健診	竹田
	3診	上野	藤田	上野	とし	宮下

認知症ケアチームのご紹介

認知症ワーキング

昨年の5月より認知症ケア加算1となり、私たち認知症ケアチームは、毎週金曜日に精神科医師、認知症看護認定看護師、社会福祉士とともに院内の認知症自立度|||以上の認知症患者さんに対して回診を行っています。認知症ケアチームのミッションは、「認知症ケアの質の向上」、もっとわかりやすく言えば「患者も看護師も笑顔になること」と考えています。そのために、回診時に病棟スタッフへ助言を行い、困難事例に対してはカンファレンスを行っています。昨年5月から今年3月まで新規患者数は426名でした。

また、認知症ケアが主催する研修会も年1回 企画しており、令和4年度は富山県立大学看護 学部長の竹内先生に「もっと知りたい! ユマニ チュード」と題した講演をして頂き、多くの職員 に参加して頂きました。

認知症患者さんは、自立した生活を営むことが難しいことが多いです。患者さんとそのご家族の退院に向けたサポートも、病棟スタッフと連携して行っていきます。患者さんが自宅療養に移行される際には、地域のサポートが不可欠となります。今後ともよろしくお願い致します。









連携談話会・症例検討会のご案内

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。お気軽にご参加ください。

6月開催予定

★第168回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード

日時:令和5年6月1日(木) 17時から場所:富山県立中央病院 5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会 (二木会)

日時:令和5年6月8日(木) 19時から

場 所: 富山県立中央病院 中央病棟 B 1 階会議室

★中央病院病診連携談話会

日時:令和5年6月12日(月) 19時から場所:富山県立中央病院 5階ホール

★第78回 富山県立中央病院歯科□腔外科 病診連携症例検討会

日時: 令和5年6月21日(水) 19時から

場所:富山県立中央病院 中央診療棟3階35会議室

呼吸器キャンサーボード

日時: 令和5年6月6、13、20、27日(火) 16時30分から

場 所: 富山県立中央病院 中央病棟 B 1 階会議室

換気、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保、 環境整備を徹底して実施いたします。

7月開催予定

★第169回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード

日時:令和5年7月6日(木) 17時から場所:富山県立中央病院 5階ホール

★富山県立中央病院リウマチ和漢診療科 漢方学術講演会

日時:令和5年7月7日(金) 19時から場所:富山県立中央病院 5階ホール

★中央病院病診連携談話会

日 時:令和5年7月10日(月) 19時から場所:富山県立中央病院 5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会 (二木会)

日時: 令和5年7月13日(木) 19時から場所: 富山県立中央病院 中央病棟B1階会議室

场 M·晶山宗立中关例院 中关例保 B | 陷云藏 =

★糖尿病療養指導のための講習会

日時:令和5年7月20日(木) 17時から場所:富山県立中央病院 5階ホール

呼吸器キャンサーボード

日 時: 令和5年7月 4、11、18、25日 (火) 16時30分から場所: 富山県立中央病院 中央病棟B 1階会議室

2 6月の外来診療に関する医師不在日

※不在日につきましては、代わりの医師が対応いたします。

科名	医師名	不 在 日
循環器内科	臼田(和)医師	15日(木)
1/8 块 66 円 件	丸山医師	16日(金)、26日(月)、30日(金)
消化器内科	松田(充)医師	1日(木)
内分泌・代謝内科	吉澤医師	1日(木)、2日(金)
リウマチ・和漢診療科	藤永医師	16日(金)、19日(月)
精 神 科	野原医師	16日(金)、21日(水)
呼吸器外科	新納医師	30日(金)
呼吸器外科	川向医師	30日(金)
心臓血管外科	外川医師	2日(金)
小 児 科	藤田医師	15日(木)
外 科	加治医師	30日(金)
フト 付 -	羽田医師	15日(木)

科 名	医師名	不 在 日		
外 科	柄田医師	30日(金)		
75 174	廣瀬医師	15日(木)		
乳腺外科	吉川(朱)医師	30日(金)		
孔脉外科	中村医師	30日(金)		
整形外科	丸箸医師	16日(金)、30日(金)		
泌尿器科	瀬戸医師	28日(水)		
耳鼻いんこう科	浦本医師	15日(木)、16日(金)		
井昇いんこう科	石川医師	15日(木)、16日(金)		
歯科口腔外科	小島歯科医師	5日(月)、7日(水)~9日(金)、19日(月)		
图科口腔外科	倉部歯科医師	12日(月)		
放射線診断科	阿保医師	30日(金)		
기 기	望月医師	8日(木)午前		

編集後記

風薫る季節、いかがお過ごしでしょうか。5月の祝日といえば、端午の節句、子供の日があります。 隣県の親戚の家では、子供たちが、菖蒲で作った兜をかぶる風習に驚いたことがありました。

毎朝、通勤時に、登校中の子供たちと、すれ違います。新しいランドセル、制服にようやく慣れてきた姿に、頑張れ!でも、無理もしないで!と、エールを送りたくなります。マスクなしの日常が戻りつつある今、子供たちの笑顔のために出来ることは何だろうと、改めて考えてみたいと思います。 (地域連携室 社会福祉士 山下 絵理子)



乗鞍高原水芭蕉 撮影:地域連携室看護師 吉田弘子

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院 地域連携室

○代表電話 076 (424) 1531/内線3177 ○予約専用 076 (491) 7160

OFAX 076 (491) 7109

がん診療に関する相談支援センター

ホームページアドレス https://www.tch.pref.toyama.jp/

地域連携室 (医療機関向け) 電話076-424-1531/内線3177 メールアドレス chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp

医療相談室(患者・ご家族向け)電話076-424-1531/内線9130・9307 メールアドレス kango@pref.toyama.lg.jp